

ニュースレター

いりおもての森から

林野庁 九州森林管理局
西表森林生態系保全センター
令和元年6月発行 No.56号



タシロマメ

「南風見田海岸ビーチクリーン活動」に参加しました

6月16日(日)竹富町西表の南風見田海岸において、西表エコプロジェクト主催による「ビーチクリーン」活動に参加しました。

西表エコプロジェクト構成団体及び地域住民、大原中学校男女BBクラブ、大原スポーツ少年団とその父兄、当センター職員の計85名が参加し、海岸の漂着ゴミの回収を行いました。

海岸線に漂着した発砲スチロール、フイ、漁網等の漁具、外国語で書かれたペットボトルやプラスチック製空き容器、空き瓶、空き缶等で、45リットル入りゴミ袋に76袋を回収し処分しました。

回収後は、中学生やスポーツ少年団の代表からゴミ回収の状況、清掃活動に取り組んだ感想の発表がありました。当センターでは、このような地域の活動に積極的に協力していくこととしています。



漂着ゴミ回収の様子



回収ゴミの一部

「船浦ニツパヤシ」モニタリング調査を実施

ニツパヤシは国内では西表島にしか生育していない希少種です。船浦ニツパヤシはこれを保護する目的で平成15年に植物群落保護林に設定しています。マングローブ林内に位置し、一時期はオヒルギ等に被圧され衰えていた樹勢も周辺環境を変えることにより回復もみられています。

当センターでは、継続的に調査を実施してきており、今年度も6月に第1回目の調査を実施しました。調査は、マングローブ林内の潮の干満の影響を受けるため、ウエダーを着用しての作業となります。気温30度、湿度90%の中、コドラート内の43個体について、樹勢調査、地盤高、開空度等について調査しました。



調査の様子

森の巨人「サキシマスオウノキ」の調査を実施

5月9日、森の巨人たち100選に選定されている「仲間川のサキシマスオウノキ」の調査を実施しました。

サキシマスオウノキの生育状況に変化はみられませんでした。以前より着生しているアコウの気根がサキシマスオウノキの幹をつたって地中に伸長しており、サキシマスオウノキの生育に与える影響が危惧されることから、アコウの除去等について関係機関と連携した対策が必要となっています。



調査の様子



サキシマスオウノキ

石西礁湖自然再生協議会「海域・陸域対策部会」に出席

5月29日(水)に環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターにおいて令和元年度「石西礁湖自然再生協議会海域・陸域対策部会」が開催されました。

同協議会は自然再生推進法に基づき、石西礁湖(石西礁湖に影響を及ぼす陸域と海域を含む)の自然再生を推進するため、必要な事項について協議することを目的としています。

今回は、これまでの各機関の取り組み実績、今後5年間の取り組みの全体的な方向性を示す基本的な方針をまとめた「行動計画2019-2023(案)」について、「海域・陸域対策部会」、「普及啓発・適正利用部会」、「学術調査部会」の3つの部会に分かれて協議されました。

「海域・陸域対策部会」のなかでは、当センターの取組内容の説明を行い、取組活動の情報共有と連携について確認しました。

「豊かなサンゴ礁の姿を取り戻す=守る」を目標に海を汚さない取り組みとして

○赤土流出防止対策

- ・台風、大雨等に起因する山地災害等が発生した場合や立木の伐採、公共工事等の事業が実施される場合は、赤土等流出防止対策等を講じた対応を実施する。

○漂流・漂着ゴミ対策

- ・西表島国有林の海岸線において、定点観測による漂流・漂着ゴミの状況調査を行い、関係機関と情報を共有し、ビーチクリーン活動へ積極的に参加する。

○沿岸域の生態系の再生

- ・マングローブ林や海岸林の保全・再生を計画的に実施し生態系の再生を図る。

6月28日には、全体協議会が開催され「行動計画2019-2023」が決定されました。



海域・陸域対策部会の様子

ヒナイ川と西田川の入り込み状況調査を実施

ヒナイ川と西田川の利用状況調査を実施しています。月に2回程度実施していますが、6月5日（水曜日）の西田川の調査では、西表島は未明からの雷を伴った大雨となりましたが、調査開始前にはすっかり晴れて蒸し暑い一日となりました。カヌーツアー2組、10名（ガイド含む）の入り込み数となりました。10日（月曜日）のヒナイ川の利用状況調査では、天候は曇りで湿度も高かったこともあり、滝つぼで遊ぶには良い日でしたが、雨もあまり降っておらず滝つぼに落ちる水量が少ないうでした。結果は、カヌーツアー13組、54名（ガイド含む）の入り込み数でした。



ヒナイ川の利用者



西田川の利用者

サガリバナ

6月の花



サガリバナはサガリバナ科サガリバナ属の常緑の小高木です。

河川沿いや湿地に群落を作ることが多く高さ10m程度になります。葉は長楕円形で長さ30cm位になり、秋には紅葉することもあります。花は白、または淡い紅色で4枚、桃色をした雄しべが多数ついており、川面に落ちた姿は幻想的です。実は卵形でやや四角張り長さ5～6cmです。落下した実は水に浮かぶようになっていて流されて着地し、発芽します。6月が最盛期です。

お知らせ

人事異動 平成31年 4月 1日付け

お世話になりました。

【転出者】 所長 廣田忠善（異動先：局）
自然再生指導官 古閑智之（異動先：大分署）
生態系管理指導官 山部国広（異動先：屋久島森林生態系保全センター）

お世話になります。

【転入者】 所長 草野秀雄（前任地：局）

新任者からのご挨拶

沖縄（八重山諸島）勤務は初めてとなり、生態系保全の業務も初めてとなります。西表島のマングローブ林、サキシマスオウノキ、ニッパヤシや街角の色鮮やかな植物など内地にない森林生態系であり、こんな自然豊かな島に驚いているところです。

この緑豊かな自然環境の保全・保護活動に努めていきたいと考えています。地域の方々や関係行政機関等との連携を図りながら、様々な保全活動に取り組んで参りますのでよろしく願いいたします。

生態系管理指導官 永山博美（前任地：屋久島森林生態系保全センター）

屋久島森林生態系保全センターから参りました。前任地とは異なる壮大なマングローブ林をはじめ貴重な動植物などが間近に観られ、西表島の豊かな自然の多さを実感しています。

国内外で注目されている西表島の中で、マングローブ林のモニタリング調査など森林生態系の維持に向けた取り組みを担当します。どうかよろしく願いします。

自然再生指導官 山邊隆広（前任地：屋久島森林管理署）

屋久島署から参りました。主に西表島における希少種の保全、外来種の駆除に係る試験、モニタリング、また、当紙の編纂及び発刊等を担当することになりました。

沖縄本島には何度か出張はありましたが、西表島は初めての勤務となります。希少な動植物、森林生態系の保全活動に取り組みます。よろしく願いいたします。

みなさん、よろしく願いします！

林野庁 九州森林管理局 西表森林生態系保全センター

〒907-0004 沖縄県石垣市登野城 55-4 石垣地方合同庁舎内
TEL：0980-88-0747 FAX：0980-83-7108

URL: <http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/huresen/huresentop.htm>

